

# クイックガイド<sup>③</sup> パソコンにつないで使う

対応 OS : Windows 7 (64bit/32bit)  
Windows Vista (64bit/32bit)  
Windows XP  
Mac OS X 10.4 以降

対応 PC : eSATA ポート、USB3.0/2.0 ポートを搭載する DOS/V パソコン  
および Intel Mac シリーズ

① ハードディスクをセットしていない場合は、「セットアップガイド<sup>①</sup> はじめにお読みください」の記載内容に従って事前にハードディスクをセットしてください。

## STEP 1 本製品をパソコンと接続する

- 1 ACアダプタのコネクタを本製品の電源コネクタに差し込みます。
- 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。
- 3 付属のケーブルを本製品に接続し、反対側のコネクタをパソコンに接続します。

① eSATAケーブルとUSBケーブルは同時利用できません。

### ●USBの場合

付属のUSBケーブルで本製品とパソコンと接続します。  
自動的に電源が入りパワーランプが緑色に点灯します。

① 2TBを超えるHDDは、Windows XPではOSの仕様上使用できません。

### ●eSATAの場合

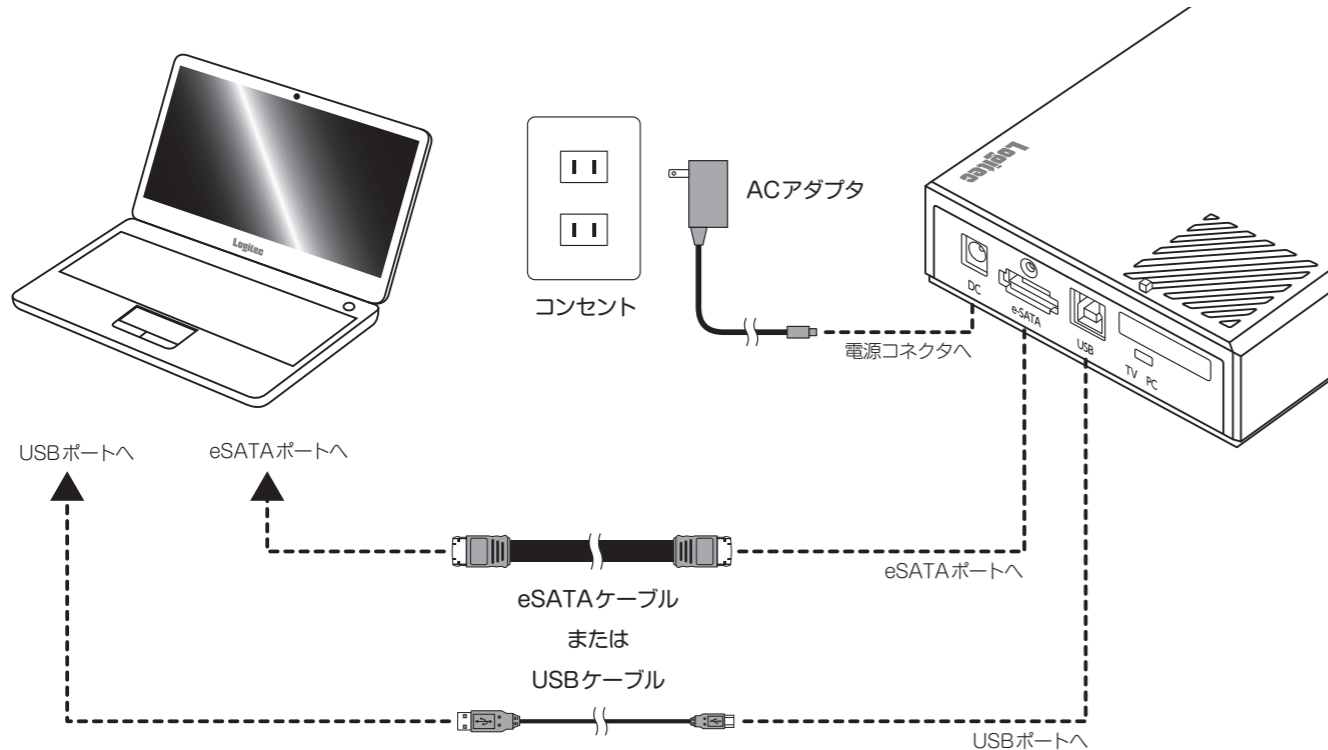
- ① 接続前にパソコンをシャットダウンします。
- ② 付属のeSATAケーブルで本製品とパソコンを接続します。
- ③ パソコンを起動すると自動的に電源が入りパワーランプが緑色に点灯します。

① 2TBを超えるHDDは、Windows XPではOSの仕様上使用できません。

① 2.5TB以上のeSATA接続の可否は、各パソコンメーカーへご確認ください。

USBまたはeSATAインターフェースを  
搭載したパソコン

本製品(背面)



## STEP 2

## 接続後の操作について

### 初めて使用するハードディスクの場合

フォーマットが必要です。

ご利用の環境に応じてフォーマット(初期化)を行ってください。

① 接続する機器の環境に合わせてフォーマットしてください。  
「Logitec ディスクフォーマッタ」(Windows 専用、裏面参照) をご利用いただくか、ご利用の OS のオンラインヘルプや説明書をお読みください。  
Macintosh 環境でのフォーマット手順については下記をご覧ください。

### データが保存されたハードディスクの場合

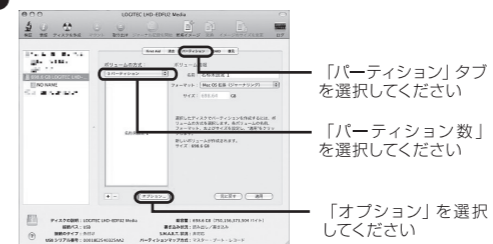
そのまま利用できます。

ただし、以下の場合はハードディスクが認識されないことがあります。その場合は、データを保存したパソコン、使用したソフトのサポート、機器のメーカーへご確認ください。

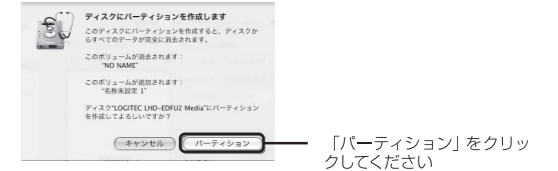
- ・データを保存したパソコンが異なる
- ・暗号化している、特殊なソフトで利用
- ・地デジの録画データ など

### Macintosh 環境でのフォーマット手順

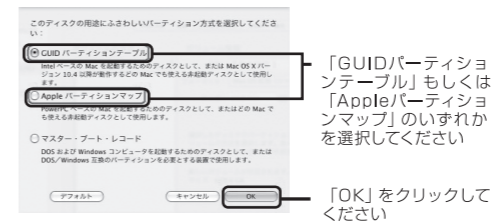
- 1 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」フォルダ内より「ディスクユーティリティ」を起動します。
- 2 フォーマットを行うドライブを選択し、「パーティション」タブを選択します。
- 3 「ボリュームの方式：」にてパーティション数を選択します。
- 4 「オプション」ボタンをクリックします。



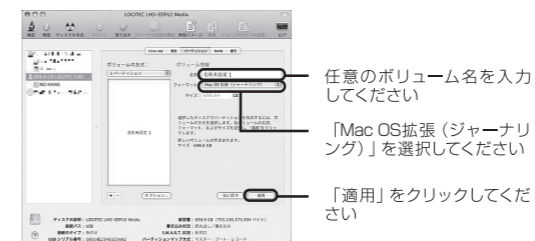
- 7 警告メッセージが表示されますので、そのまま「パーティション」ボタンをクリックします。



- 5 「GUID パーティションテーブル」もしくは「Apple パーティションマップ」のいずれかを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- 6 以下のように選択して右下の「適用」ボタンをクリックします。  
名前：(任意のボリューム名を入力してください)  
フォーマット：Mac OS 拡張 (ジャーナリング)



## STEP 3 本製品を取り外す

本製品の取り外しは、次の手順でおこないます。ご使用の環境の説明をお読みください。

❗ 本製品をパソコンから取り外す前に、本製品内に保存されているデータファイルが開かれていないこと、本製品へのアクセスがおこなわれていないこと（本体のアクセスランプが消灯していること）を確認してください。本製品内に保存されたデータファイルを開いている状態、および本製品へのアクセス中に取り外しをおこなうと、本製品内のデータが破損・消失する恐れがあります。

### Windows環境

1 タスクトレイにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。アイコンの形状はOSにより異なります。



2 USB記憶装置を取り外すメッセージが表示されますので、メッセージをクリックします。



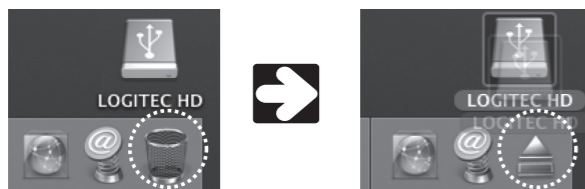
\* 左の図はFドライブとして認識している場合です。

3 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、USBケーブルを取り外します。これで取り外しは完了です。



### Macintosh環境

本製品のアイコンをドラッグ&ドロップし、デスクトップのDockにある「取り外し」アイコンに重ねます。そのあと、ご使用のインターフェースのケーブルを取り外します。これで取り外しは完了です。



「取り外し」アイコンは、通常はゴミ箱の形をしています。本製品のアイコンを選択すると、「取り外し」アイコンに形状が変わります。

## ソフトウェアについて

弊社ホームページでは、ハードディスクユニットを快適に使用するために、以下のソフトウェアをダウンロード提供しています。必要に応じてご活用ください。ここで紹介するソフトウェアは、Windows環境のみご使用になれます。

❗ ソフトウェアによっては、ダウンロード製品のシリアルナンバー（製造番号）の入力が必要になることがあります。シリアルナンバーは製品本体の銘板シールでご確認ください。

Logitech ディスクデータイレイサ ([http://www.logitech.co.jp/down/soft/uty/d\\_e.html](http://www.logitech.co.jp/down/soft/uty/d_e.html))



HDドライブに書き込まれたデータは、OS上でのファイルの削除、さらにはフォーマットをおこなった後でさえ、復旧できる可能性があります。「Logitech ディスクデータイレイサ」は、増設HDドライブの全セクタに、ランダムデータを上書きして元データの消去をおこないます。元データに異なる内容のデータが上書きされますので、パソコンで元データの読み出しをおこなうことはできない状態になります。増設HDドライブの破棄や譲渡をおこなう場合、データの漏洩対策に役立ちます。

Logitech フォルダミラーリングツール ([http://www.logitech.co.jp/down/soft/uty/f\\_m.html](http://www.logitech.co.jp/down/soft/uty/f_m.html))



フォルダ単位でのミラーリング環境を提供する、簡単バックアップツールです。指定されたフォルダを監視して、変更されたファイルをバックアップ先のフォルダに自動的にコピーします。バックアップしたいフォルダとバックアップ先を指定しておくだけで、指定した二つのフォルダの内容を常に同一に保ちます。ファイルの変更を検出した時点でコピーをおこなない、コピーは全て自動でおこなわれるため、バックアップ作業を特に意識する必要はありません。頻繁に変更のかかるデータのバックアップに、とくにおすすめです。

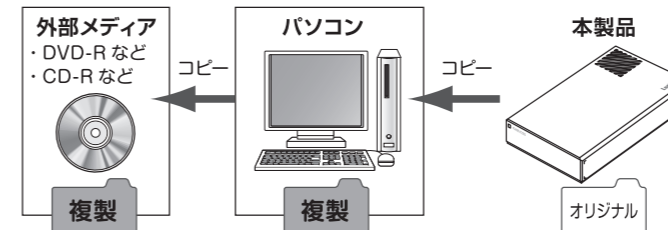
Logitech ディスクフォーマット ([http://www.logitech.co.jp/down/soft/format\\_s/d\\_fmt.html](http://www.logitech.co.jp/down/soft/format_s/d_fmt.html))



ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する設定を簡単な操作で実行できるツールです。

### ■バックアップについて (万々に備えて、定期的なデータのバックアップを強く推奨します)

本製品に保存されたデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。ウイルス、誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障などに備え、バックアップ（データの複製）をお願いします。バックアップとは、本製品以外の場所にも、データの複製を作成しておき、万一の際は複製のデータを利用して損害を最小限にすることです。



### ■廃棄、譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の製品を廃棄等される場合には、以下の事項にご注意ください。

- ハードディスクを廃棄あるいは譲渡する際、記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」をおこなっただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう、全データ消去の対策をお願いします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなく譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾に抵触する場合がありますのでご注意ください。お客様のデータが漏洩することによる、いかなるトラブルも弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご承知おきください。

### ■ハードディスクを廃棄する場合

ご使用の製品を廃棄される場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

#### データ消去サービスのご案内

エレコムグループでは、ハードディスクのデータを完全に消去するサービスを有償にておこなっております。重要なデータの保存に利用したハードディスクを廃棄する場合などにご利用ください。データ消去サービスの詳細については、ロジテック社のホームページで紹介しております。

◆Logitechデータ復旧技術センター  
[http://www.logitech.co.jp/data\\_recovery/](http://www.logitech.co.jp/data_recovery/)

#### ⚠ データの取り扱いについて

- ・ 万一、盗難等によりハードディスク内にあるお客様の個人情報が出た場合、弊社は一切の責任を負いかねます。大切なデータを管理するため、盗難防止など、必要な処置を講じておくようお願いいたします。
- ・ ハードディスクドライブは消耗品です。不適切な使用や電氣的ノイズ、静電気による障害、強い衝撃、落雷などの天変地災により故障する場合があります。重要なデータは万々に備えて必ず他のメディアにバックアップを取っておくようお願いいたします。
- ・ 不適切な使用や故障の結果生じたデータの直接的または間接的な損害については、弊社では一切の保証をいたしません。
- ・ 本製品に保存したデータの消失については、いかなる運用形態にかかわらず、弊社では一切その責任を負いません。